

第12表 社会福祉施設数・収容者数

本表は生活保護法、児童保護法等によるもので各年とも12月末現在のものであるが、児童相談所は12月中の受付件数である。

区分	昭和39年		昭和40年			昭和40年		
	施設数	収容人員	施設数	大阪府が監督するもの	大阪市が監督するもの	収容人員	大阪府が監督するもの	大阪市が監督するもの
総数	535	-	586	369	217	-	-	-
養護老人ホーム施設	27	2 722	26	21	5	2 545	1 995	550
救護老人施設	7	467	7	6	1	506	456	50
更生施設	9	1 874	9	-	8	1 510	200	1 310
宿所施設	5	813	2	0	2	372	0	372
授産施設	0	0	0	0	0	0	0	0
医療保護施設	18	1 591	17	13	4	2 852	1 742	1 110
婦人保護施設	4	111	4	4	0	255	255	0
乳児院	6	222	5	3	2	210	130	80
養護施設	42	3 042	42	30	12	3 466	2 065	1 401
精神薄弱児通園施設	8	442	10	6	4	602	400	202
精神薄弱児通院施設	2	21	3	3	0	120	120	0
肢體不自由児施設	2	272	2	1	1	374	250	124
盲児施設	2	142	1	1	0	140	140	0
ろう児施設	1	33	1	0	1	40	0	40
児童厚生施設	1	38	2	0	2	80	0	80
児童産所	30	0	33	23	10	1 260	1 100	160
母子寮	7	55	7	4	3	55	19	36
母子相談所	25	1 874	24	19	5	1 820	1 313	507
児童相談所	324	23 206	361	209	152	24 743	15 297	9 446
身体障害者施設	8	795	8	7	1	1 163	273	890
精神障害者施設	3	117	2	6	2	220	170	50
精神障害者保護施設	2	105	2	2	0	210	210	0
結核回復者後保護施設	2	86	1	1	0	80	80	0
特別養護老人ホーム	-	-	3	3	0	230	230	0
経費老人ホーム	-	-	4	4	0	240	240	0
老人福祉センター	-	-	3	2	1	340	240	100
情緒障害児短期治療施設	-	-	1	0	1	50	0	50

資料 大阪府民生部社会課、婦人児童課、大阪市民生局庶務課。

第13表 結婚あつせん状況

本表は「厚生省報告例」にもとづいて作成された各年度中のものである。

年次	相談件数			申込件数			照会組数 (見合)	成立組数
	総数	男	女	総数	男	女		
昭和36年度	16 596	7 557	9 039	2 709	1 096	1 613	2 312	186
37	20 586	9 302	11 287	3 255	1 308	1 947	2 512	232
38	22 526	10 206	12 320	3 586	1 410	2 176	2 986	205
39	24 668	11 196	13 472	3 275	1 284	1 991	2 906	204
昭和40年度	25 475	11 793	13 682	3 300	1 316	1 984	3 556	210

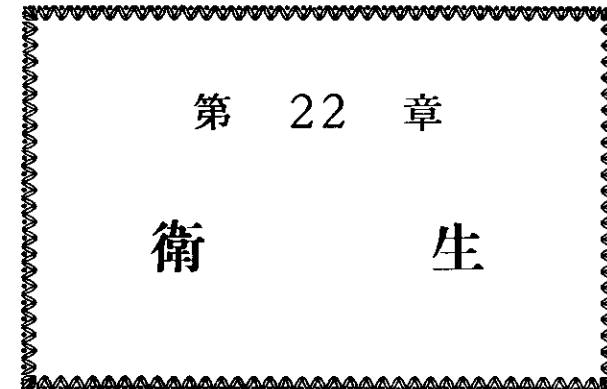
資料 大阪府立結婚相談所。

第14表 共同募金額・配分額

各年とも募金額には前年度配分不要繰越金・配分額には経費充当額、次年度運動準備金、繰越分配金を加えられていないため両者の数字は一致しない。

区分	募金額				区分	配分額			
	昭和37年	昭和38年	昭和39年	昭和40年		昭和37年	昭和38年	昭和39年	昭和40年
総額	102 996	122 096	115 195	128 216	総額	86 278	105 095	95 974	108 119
戸別募金	65 762	73 107	75 874	72 582	社会福祉施設	28 976	27 352	29 825	29 771
法人募金	10 792	7 106	9 091	15 875	保育所託児所	3 478	3 372	5 004	4 652
学校職域募金	5 963	6 368	6 526	6 788	隣保館児童館遊園地	2 813	3 051	3 218	3 448
街頭募金	4 461	4 900	4 600	5 838	社会福祉事業団体	1 700	1 700	1 930	2 130
パッチ収益金	9 135	9 386	16 016	16 337	府市社会福祉協議会	5 950	5 994	7 158	7 567
その他	6 853	21 229	3 088	10 796	更生援護資金	7 445	7 510	7 474	7 580
					地域社会福祉協議会	31 519	35 980	39 756	44 347
目標額	75 000	75 000	75 000	75 000	その他	4 397	20 136	1 609	8 624

資料 社会福祉法人大阪共同募金会。



## 第22章 衛生

### 病院、病床等の概況

府下の医療施設（病院、一般診療所、歯科診療所）の数は7,657所で前年にくらべ273所の増加をみせ、その整備の実をあげているが、結核療養所、伝染病院は最近の事情を反映して減少を示している。昭和40年の医療施設は人口10万に対し115施設で、1医療施設あたり869人と前年の877人より8人の減少となっている。医療施設7,657所の内訳は病院391所、一般診療所5,035所、歯科診療所2,231所となり、これらの有する病床総数は約6万3千床で、前年の6万床より3千床増加し、人口10万に対し946床、1病床あたり106人で、前年の109人より3人の減となっている。さらに病床総数の89%を占める病院の5万6千床をその区分によってみると、一般病床77.6%、結核病床8.4%、精神病床13.5%、伝染病床1%弱で、結核病床は昭和38年まで年々2~3%の減少に過ぎなかったものが、昨年には30%に及ぶ大巾の減少となっており、その割合が10%以下に転落した。しかし本年は前年にくらべ6%の減少に止まっている。これに対して精神病床は年々増加を示し、前年比15.1%の増加となっている。これは最近とみに精神衛生に対して社会の関心が高まってきたためと考えられる。

昭和40年の在院患者数（診療所は含まない）は延べ1,695万3千人で1日当たり4万6千人強で、その内訳は一般病床2万4千人強、精神病床、結核病床とも1万1千人弱で、伝染病床は110人である。

新入院患者数は年間34万1千人で、その1日あたりでは935人となる一方、年間外来患者延数は、2,352万人と人口増加とあいまって昨年と同様漸増の傾向にあり1日あたりでは6万4千人となっている。

医療関係従事者のうち府下医療施設に従事する医師は7,955人、同じく歯科医師2,794人、薬剤師3,149人（医療施設以外の従事者を除く）となり、人口10万に対する医療施設に従事する医師は120人、同じく歯科医師42人、薬剤師47人となって医師については殆んど変わらないが、歯科医師、薬剤師については多少増加している。

### 死亡の概況

出生率は年々増加の傾向を示しているが、死亡総数は年間37,497人で人口千人に対し36年6.2人、37年6.2人、38年5.7人、39年5.6人、40年5.6人と、減少の傾向にあって平均余命も年々延びてきている。

死亡数の上位10傑を病名別にみると、

「中枢神経の血管損傷」の7.2千人（19.2%）をトップに  
 「悪性新生物」 6.7千人（17.8%）  
 「動脈硬化性・変性性心臓疾患」 3.1千人（8.3%）

「精神病の記載のない老衰、診断名不明確、不明の原因」 3.0千人（8.0%）  
 「自動車事故および不慮の事故」 2.2千人（5.9%）  
 「結核」 1.8千人（4.8%）  
 「肺炎」 1.4千人（3.7%）  
 「自殺自傷」 1.0千人（2.7%）  
 「高血圧性心臓疾患その他の高血圧疾患」 1.0千人（2.7%）  
 「新生児固有の疾患・性質不明の未熟児」 794人（2.1%）

の順になって、これらで死亡者総数の75%強を占め、そのうち48%が成人病といわれる死因である。また「自動車事故」「不慮の事故」は人災でありながら依然として減少しない。「結核」も年々減ってきたもののこのところ横ばい状態で依然として5位に位している。

### 伝染病患者の概況

府下における40年の法定指定伝染病患者は1,309人で、過去5年間の3千人~4千人を大きく下廻り、昨年からは減少の傾向にある。その主な病名別患者数は、赤痢718人（55%）しょうこう熱360人（27.5%）ジフテリア88人（7%）日本脳炎78人（6%）がその主なものである。

### 体格

大阪府下の児童、生徒の体格は總体的に全国平均を上回っているが、昭和25年当時と比較すると、14才の男子では身長が13.5cm、体重9.7kg、胸囲6.3cmと全体にひとまわりも大きくなっている。また女子においては11才で身長9.6cm、体重5.6kg、胸囲3.8cmという发育ぶりである。

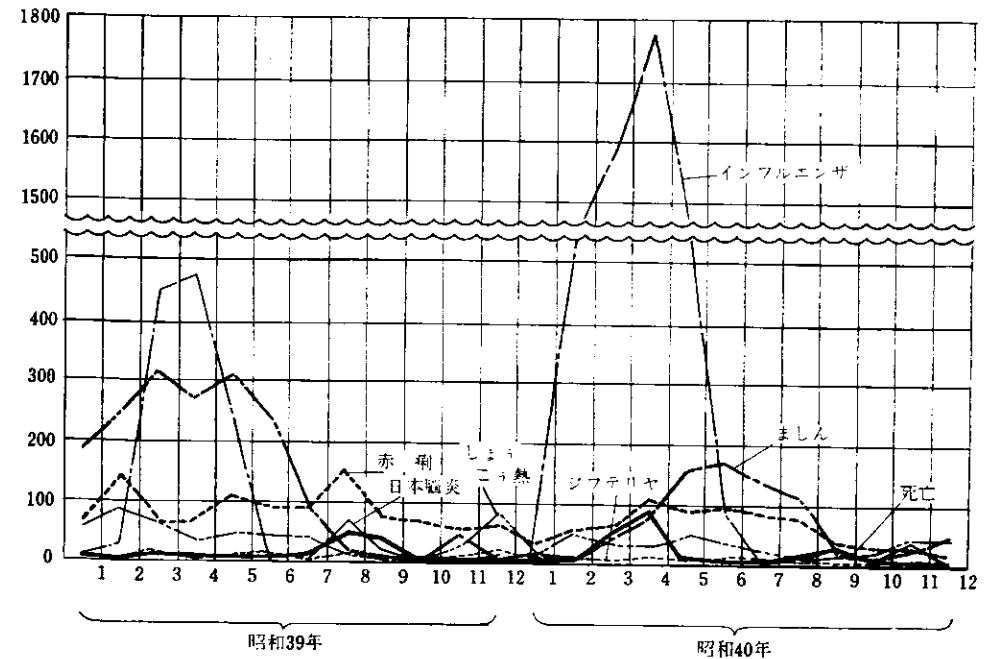
この豊かな发育は食生活の改善によるもので、増加の度合をみると、各年齢層でも体重の増加がいちばん大きく、男子の14才ではこの15年間で約25%、女子の17才で約20%、11才の女子では約14%もふえている。

これからみると、最近の发育の最盛期は低年齢層に移り、身長に伴いが座高の伸びにくらべて大きいのは、下脚長の伸びの大きいためである。これにくらべ胸囲はわずかな差であり、大阪府の場合は、ずんぐり型からひよる長型になって、体力のともなわない長身細胸の都会型となっている。

### 公害の概況

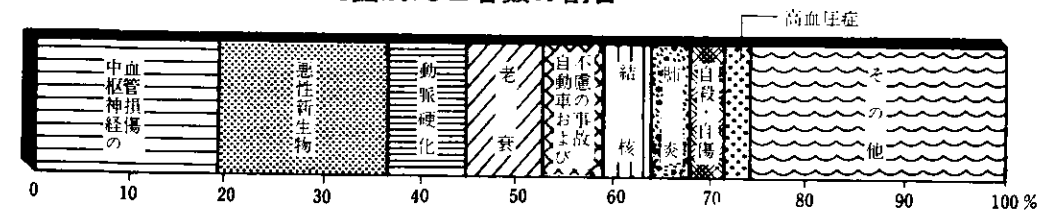
大都市に共通な悩みである公害問題について府下の状況を見ると、大阪府周辺都市における積極的な工場誘致と、住宅の郊外への移行を反映して公害地域が拡大する傾向にあり、陳情件数は昨年より若干減少しているものの、ばい煙、振動、ガスでは逐年増加しているのが注目される。

## 伝染病による罹患数と死亡者総数



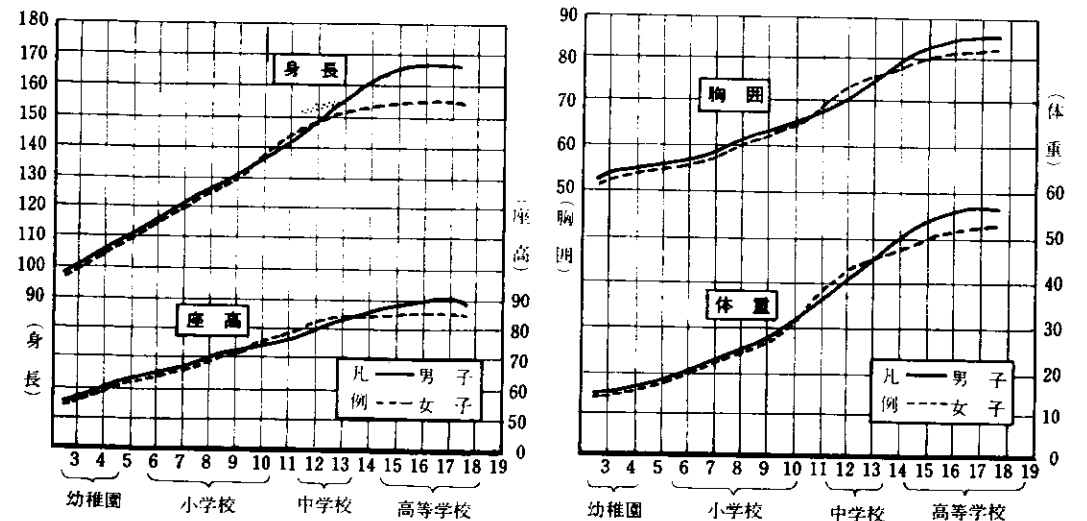
## 死因別死亡者数の割合

第24表参照



## 年齢別に見た幼児・児童・生徒の平均体格

第25表参照



第1表 病院・診療所数および病床数

本表の数字は「医療施設調査」によるものである。なお、「病院」とは患者20人以上の収容施設のあるものをいい、「診療所」とは患者の収容施設をもたないもの、または患者19人以下の収容施設しかもないものをいう。らい療養所は該当がないので省略した。

Table with columns for year (昭和36, 37, 38, 39, 40), hospital types (精神病院, 結核療養所, 伝染病院, 一般病院), and medical facilities (一般診療所, 歯科診療所, 性病病院). Includes sub-columns for total number and beds.

資料 大阪府衛生部衛生総務課、「衛生年報」

第2表 医師・歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士・獣医師数

本表の医師、歯科医師、獣医師数は医師法、歯科医師法、獣医師法にもとづくそれぞれの届出数を集計したものであり、歯科衛生士、歯科技工士数は「厚生省報告例」によるもので従業地主義をとっている。ただし獣医師数は居住地主義である。

Table showing the number of medical professionals by year (昭和36-40) and category (医師, 歯科医師, 歯科衛生士, 歯科技工士, 獣医師). Includes sub-categories for medical facilities.

資料 大阪府衛生部衛生総務課、「衛生年報」同農林部畜産課。

第3表 薬剤師・保健婦・助産婦・看護婦・準看護婦・看護人数

本表の薬剤師数は薬剤師法にもとづく届出数を集計したものであり、保健婦、助産婦、看護婦、準看護婦、看護人数は「厚生省報告例」によるものであり、いずれも従業地主義によるものである。

Table showing the number of medical staff by year (昭和36-40) and category (薬剤師, 保健婦, 助産婦, 看護婦, 準看護婦, 看護人). Includes sub-categories for medical facilities.

資料 大阪府衛生部衛生総務課、「衛生年報」

第4表 その他の医療、衛生関係従事者数

本表の診療X線技師、衛生検査技師数は「医療施設調査」による従事者、衛生管理者数は「労働基準法」による免許証所有の医師でない適任者、栄養士数は「栄養士法」による届出数を集計したもの。乳業士数は「乳業の販売及び取扱に関する条例」(大阪府)による甲種、乙種の免許証所有者。眼鏡士数は大阪府衛生協会への登録者。調理師数は「調理師法」にもとづく免許証所有者。あんま師、はり師、きゅう師、柔道整復師数は「厚生省報告例」によるものである。

Table showing the number of other medical and health-related workers by year (昭和36-40) and category (診療X線技師, 衛生検査技師, 衛生管理者, 栄養士, 乳業士, 眼鏡士, 調理師, あんま師, はり師, きゅう師, 柔道整復師).

資料 大阪府衛生部医務課、同食品衛生課、同予防課、大阪労働基準局。

第5表 病院の在院患者延数および病床利用率

本表は医療法にもとづく「病院報告」によるものである。なお、在院患者延数は毎日午後12時現在に在院している患者数を1年分合計したもの。病床利用率は(1日当り平均在院患者数/年6月末病床数)×100である。本表は病床の種類によるものであるから病床区分は病院のそれを必ずしも意味しない。

Table showing inpatient numbers and bed utilization rates by year (昭和36-40) and hospital type (精神病床, 結核病床, 伝染病床, 一般病床).

資料 大阪府衛生部衛生総務課、厚生省大臣官房統計調査部「病院年報」「病院報告」

第6表 病院の新入院患者数および外来患者延数

本表は医療法にもとづく「病院報告」によるものである。なお、外来患者延数は来院、往診、巡回診療をした患者延数で、同一患者が2つ以上の診療科で受診した場合それぞれ1として計上してある。本表は病床の種類によるものであるから病床区分は病院のそれを必ずしも意味しない。

Table showing new inpatient numbers and outpatient numbers by year (昭和36-40) and hospital type.

資料 大阪府衛生部衛生総務課、厚生省大臣官房統計調査部「病院年報」「病院報告」

第7表 人工妊娠中絶件数

本表の数字は優生保護法にもとづく医師の届出票を集計したものである。

Table showing the number of induced abortions by year (昭和36-40) and age group (20歳未満, 20~24歳, 25~29歳, 30~34歳, 35~39歳, 40~44歳, 45~49歳, 50歳以上).

資料 大阪府衛生部衛生総務課「人工妊娠中絶半年報」

第8表 食品衛生関係営業施設数

本表の数字は大阪府内における許可を要する営業施設および要さない営業施設の数であるが許可を要さない施設については概数である。

Table showing the number of food hygiene related business facilities by year (昭和36-40) and category (飲食店営業, 喫茶店営業, 菓子製造業, アイスクリー ム類製造業, 市乳(乳類)販売業, 食肉販売業, 魚介類販売業, 清涼飲料水製造業, 氷雪販売業, みそ、醤油、ソース製造業, 酒類製造業).

資料 大阪府衛生部食品衛生課。「厚生省報告例」

第9表 と畜場・牛乳処理業数、と畜・乳牛検査頭数 および狂犬病予防状況、ねずみ捕獲数

本表のと畜場数、と畜検査頭数、狂犬病予防状況は「厚生省報告例」によるものである。ねずみ捕獲数は本府でまとめた数字である。

Table with columns for year, number of farms, inspection counts for various animals, and rat capture statistics.

資料 大阪府衛生部食品衛生課、同環境衛生課、同農林部畜産課。

第10表 環境衛生関係営業施設数および従事者数

本表の数字は「厚生省報告例」によるものである。客室については概数である。

Table showing environmental hygiene facilities and staff counts, categorized by facility type and employee count.

資料 大阪府衛生部環境衛生課、大阪市衛生局環境衛生課。

第11表 環境衛生関係営業施設数

本表の数字は「厚生省報告例」によるものである。但し、再生資源関係営業施設数は「大阪府再生資源営業取締条例」にもとづく許可施設数である。

Table listing environmental hygiene facilities such as crematoriums, animal shelters, and recycling centers.

資料 大阪府衛生部環境衛生課、大阪市衛生局環境衛生課「衛生行政業務報告」

第12表 結核予防法による健康診断状況

本表は「保健所運営報告」によるもので、結核予防法にもとづく定期、定期外の合計である。

Table detailing tuberculosis prevention health checkup status, including number of examinees and detected cases.

資料 大阪府衛生部予防課、厚生大臣官房統計調査部

第13表 性病、予防接種、寄生虫、トラホーム予防状況

本表は「保健所運営報告」によるものである。予防接種被接種者数は予防接種法にもとづく定期、臨時の合計である。寄生虫検査の有卵者数のうち、1人で2種以上にわたるものはそれぞれに計上してある。

Table showing statistics for venereal diseases, vaccinations, parasites, and trachoma.

資料 大阪府衛生部環境衛生課、厚生省大臣官房統計調査部「保健所運営報告」

第14表 衛生検査延件数

本表の数字は「厚生省報告例」によるものである。

Table showing the number of extended health examination cases across various categories.

資料 大阪府衛生部環境衛生課、厚生省大臣官房統計調査部「衛生行政業務報告」

第15表 薬事関係業者数

本表欄頭の医薬品販売業のうち「一般」とは総ての医薬品について販売できる薬剤師の管理している業者「薬種商」とは法律に定められた指定医薬品を除くものの取扱をする薬種商の資格のある業者、「配置」とは置き薬として認められた置き薬業者「特例」とは法律で定められた特定の品目のみを取扱う資格を要さない業者（ ）内の数字は内数で衛生材料製造業

Table showing the number of pharmaceutical-related businesses, categorized by type and activity.

資料 大阪府衛生部業務課、厚生省大臣官房統計調査部「衛生行政業務報告」

第16表 麻薬中毒者数

本表は本府でまとめた数字であるが、昭和40年については、がんおよび結核末期のものを除いたものである。

Table showing the number of opiate addicts, broken down by age and gender.

資料 大阪府衛生部業務課、厚生省大臣官房統計調査部「衛生行政業務報告」

第17表 個別健康診断開設回数、受診延人員(保健所別)

保健所運営報告によるもので、計数は各年中における保健所内および所外の合計数である。なお、1)には歯科および性病診断を含む。

Table with columns for health center (保健所), total number of visits (総回数), total number of staff (総人員), and various categories of health services (結核, 成人病, 母子, 療育その他).

資料 大阪府衛生部衛生総務課(衛生年報)

第18表 集団健康診断開設回数、受診延人員(保健所別)

前表頭を参照。

Table with columns for health center (保健所), total number of visits (総回数), total number of staff (総人員), and various categories of health services (結核, 成人病, 母子, 療育その他).

資料 大阪府衛生部衛生総務課(衛生年報)

第19表 市区町村別公害防止条例に基づく届出件数と公害防止陳情件数

本表は各年度ごとに本府でまとめたもので、公害防止条例による届出件数の欄「取りやめ」とは欄頭「新設、増設、変更等」の作業をするにあたって公害防止条例にもとづき届出たがそれらを取りやめる届出をしたという意味である。

Table with columns for city/ward/village (市区町村), total number of reports (総件数), and various types of public inquiries (騒音, 振動, 粉じん, ばい煙, ガス, 排液).

資料 大阪府商工部公害課。



第 22 表

性病・結核・らい・食中毒患

前表頭注参照のこと。なお、全結核は本省発表の確定数であるが、その内訳は本府で集計したものである。

Table with columns for Year/Month, Sex, Disease (Syphilis, Venereal, Soft chancre, etc.), and Statistics (Cases, Incidence Rate).

資料 大阪府衛生部衛生総務課、厚生省大臣統計調査部「衛生年報」伝染病簡速統計週報

第 23 表

市郡別、年齢階

本表は「人口動態調査」によつた府下在住の日本人に於けるもので府外で死亡したものも含まれる。

Table with columns for City/County, Age Group (0, 1-4, 5-9, etc.), and Statistics (Cases, Incidence Rate).

資料 大阪府衛生部衛生総務課「人口動態調査票」

者数、罹患率および死亡者数

るため、死者数の計は合致しない。罹患率は人口10万対である。

Table with columns for Disease (Tuberculosis, Respiratory, etc.), Statistics (Cases, Incidence Rate, Deaths).

級別死亡者数

なお昭和38、39、40年の数字は本府で集計した概数で住所地に照替えのため作業におくれがあるので国の発表した数とは若干合わない。

Table with columns for Age Group (35-39, 40-44, etc.) and Statistics (Cases, Incidence Rate, Deaths).

第24表

月別、死因別

本表は「人口動態調査」によつた府下の日本人に於けるもので、府外で死亡したものも含まれる。なお

Table with columns for death causes (死因) and years (昭和136年, 昭和137年, 昭和138年, 昭和139年) and a sub-column for months (1月). Rows include categories like 呼吸器系の結核, 赤痢, ベルセリン, etc.

死亡者数

死因分類は国際疾病、傷害および死因統計分類にもとづいている。

Table showing monthly death counts (死亡者数) by month (2月 to 12月) for the years 昭和136, 137, 138, and 139. Includes a '和' (Total) row at the top.



第25表

幼児、児童、生徒の平均体格

本表は「学校保健統計調査」による府下学童の平均体格を示しているが、この調査は府下学校数から、昭和40年については幼稚園10分の1、小学校18分の1、中学校12分の1、高等学校10分の1の無作為抽出によるものである。なお、昭和25年はしつ調査である。

Table with columns for age (年), sex (性別), height (身長), weight (体重), chest circumference (胸囲), and sitting height (座高). Rows include data for kindergarten (幼稚園), elementary school (小学校), middle school (中学校), and high school (高等学校) across various years from 1939 to 1949.

資料 大阪府企画部統計課。

第26表

幼児、児童、生徒の比体重、比胸囲、比座高

前表頭注参照のこと。比体重=体重/身長×100 比胸囲=胸囲/身長×100 比座高=座高/身長×100 で小数点2位を4捨5入してある。

Table showing ratios of weight, chest circumference, and sitting height for different age groups (3 to 19 years) across various years (昭和35年, 昭和40年).

資料 大阪府企画部統計課(学校保健統計調査)

第27表

幼児、児童、生徒の疾病異常該当者率

前表頭注参照のこと。但し、本表は受検人員に対する該当者率を示す。該当者率は小数点2位を四捨五入してある。なお、ゴシック体は受検率である。

Table showing the percentage of children with various diseases and abnormalities, categorized by school level (幼稚園, 小学校, 中学校, 高等学校) and sex (男, 女). Rows include general checkups (一般検診), nutrition (栄養), back issues (背柱異常), eye conditions (眼疾), ear conditions (耳疾), and dental issues (歯).

資料 大阪府企画部統計課(学校保健統計調査)

第28表

摂取栄養量(1人1日当り)

本表は「国民栄養調査」によるもので調査時期は年4回5、8、11月および翌年2月の各月とも連続した3日間の状況で年平均である。39年からは法規則の改正により年一回となった。栄養量はすべて調理による損耗を考慮していない。昭和29年3月および39年栄養値算定の成分表の改訂が行われた30年以降は鉄の数値に変動がある。39年以降ビタミンAの数値が変った。

Table with columns for nutrient types (e.g., 純熱, 蛋白質, 脂肪, 炭水化物, ビタミン) and rows for years (昭和24年, 昭和34年, 昭和37年, 昭和38年, 昭和39年, 昭和40年). Includes sub-columns for '全国' and '大阪府'.

資料 大阪府衛生部食品衛生課「国民栄養調査」

第29表

府県別医療施設関係者数

本表は各年末現在数で、1)、2)、3)は実務に従事するものである。4)は「医療施設調査」によるものであるが、ここでは歯科診療所を含まない。

Table showing medical facility related personnel counts by prefecture (府県) and year (昭和35年, 36年, 37年, 38年, 39年). Columns include categories like 医師, 歯科医師, 薬剤師, 保健婦, 助産婦, 看護婦, 病院, 一般診療所.

資料 厚生省大臣官房統計調査部「医師、歯科医師、薬剤師調査」「医療施設調査」(日本統計年鑑)

第23章

司法および警察